

【クラブ活動報告】

「秋の収穫祭」さつまいも掘り

和歌山東南ロータリークラブ
会長 塩崎 和仁

令和5年10月14日(土)、社会奉仕活動『秋の収穫祭』さつまいも掘りを行いました。

本事業は、約10年ぶり4回目となりますが、若者サポートステーションわかやま・NPO法人 わかやまこども食堂・ローターアクトの会員に参加して頂き日常体験できないことを体験して頂きたくて計画いたしました。

芋の植え付けから収穫まで体験して頂くことにより、これからの人生に生かして頂けたらと思います。また、この奉仕活動で和歌山市内の子ども達が元気にのびのびと育っていくのではないかと考えています。

5月から耕運・消毒・畝立・マルチの準備・苗の植え付け・水やり、7月・8月・9月と月1回草取り、10月の収穫・調理を行いました。

今回のプロジェクトの対象は、若者サポートステーションわかやま【仕事と社会参加・日常体験できない事】・NPO法人わかやまこども食堂・ローターアクトの会員にさつまいも掘り体験して頂く事です。5月の芋の苗の植え付けから10月の収穫まで体験して頂き、収穫した芋を全員で食べながら交流し社会との繋がるきっかけになればと考えています。

秋の収穫祭の参加者は約80名でした。「紅あずま」「鳴門金時」「紅はるか」の苗を5月に植え、この日に収穫。子どもらは軍手を着け、土から伸びたツルをたよりにスコップで掘ったり、手で引っ張ったり。自分の顔ほどの大きさに育った芋が次々と出てくると歓声を上げていました。

収穫後は焼き芋・芋の天ぷら・おにぎり・おでん、綿あめ・お菓子・飲み物も振る舞い喜んで食べていました。

収穫して食べる喜びを感じてもらおうとさつまいも掘りを計画は大成功に終わりました。育ったものを収穫して食べることを通して、食べることを通して、働く大切さや食べる楽しさを感じてほしいです。

